

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	T.K.	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	3	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学(カフォスカリ大学)		
期間	2023年8月31日～2024年7月25日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約(14万)円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(歩き)で、約(5~10)分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	3-4万円	基本自炊。外食込み(週に一回程度)
学用品購入費	0円	学校用に買ったものは特にはないです。
交通費	3000円	基本歩きです。
交際費	1万円	友達と遊びに行ったり、飲みに行ったり。
その他	1-2万円	洋服や日用品

合計

約7万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

私はベネチア本島に住んでいたのですが、良くはないですが悪くもなかったです。本島ではないメストレでは、夜中歩くと人に絡まれるなどの話は良く聞きます。ただベネチア本島でも夜遅くに一人で帰るのは少し危ないので到着したらすぐに友達に連絡を入れたりなどのことをしました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(125,230) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市/町 (ベネチア本島) イタリア北東部にある都市 アドリア海の最深部、ベネチア湾にできたラグーナ能化に築かれた都 ベネト州ベネチア県 別名：水の都 本島だけでなく、自治体としてのベネチア市は、面積 421.54 km²ほど。</p>

【学業編】

1. 大学情報

大学	カフォスカリ大学	所在地	ベネチア
最寄空港	マルコポーロ	空港からの距離	バスで約 30 分
空港⇄大学	(空港からベネチア本島のバス停であるローマ広場までバス一本。本島内では、歩き。) *移動手段		
学生数	約 19000 人	留学生数	1500 人
学部	経済学部 哲学部 経営学部 環境化学・情報学・統計学部 分子科学・ナノテクノロジー学部 言語学部 アジア・北アフリカ部 人文学部		
	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	これといった学部はありませんでした。交換留学生は基本的に好きな学部から好きな授業を選びました。		
	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Japanese translation			Religion of Contemporary Southeast Asia
午後	Monetary economics		Monetary economics	Buddhism	

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Venetian Art	Italian A1			Italian A1
午後	Introduction to Italian Language Postcolonial Society	Dante	Dante	Introduction to Italian Language	Dante

3. 履修内容

科目	MONETARY ECONOMICS		
履修期間	2 nd term	単位数	6ECT
授業内容／形態	金融視点で経済学を学ぶ一斉授業。		
成績	21/30		
YCU 振替予定	科目	国際金融論 1	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	RELIGION OF CONTEMPORARY SOUTHEAST ASIA		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	東南アジアの宗教を歴史的・政治的視点などから学ぶ一斉授業。		
成績	28/30		
YCU 振替予定	科目	東南アジア研究	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	BUDDHISM: CULTURE AND SOCIETY		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	仏教の成り立ち、あり方、宗派、仏教を主に信仰している国にフォーカスして深掘りする一斉授業。		
成績	18/30		
YCU 振替予定	科目	宗教論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	JAPANESE TRANSLATION		
履修期間	1 st semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	日本の作品や文などを英語に翻訳する方法などについて学ぶ一斉授業。		
成績	27/30		
YCU 振替予定	科目	翻訳文化論 B	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	VENETIAN ART AND ARCHAEOLOGY		
履修期間	2 st semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	ベネチア、またはそのアドリア海周辺の国の美術や建築を学ぶ一斉授業。		
成績	26/30		
YCU 振替予定	科目	現代美術論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	FOOD & BEVERAGE MANAGEMENT		
履修期間	3 rd term	単位数	6ECT
授業内容／形態	食品と飲料の管理など経営的な視点で学ぶ一斉授業。		
成績	26/30		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 C)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	INTRODUCTION TO ITALIAN LANGUAGE(ITALIAN A1)		
履修期間	2 nd semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	イタリア語、またイタリア文化について学ぶ一斉授業。		
成績	20/30		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 A)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	INTRODUCTION TO DANTE		
履修期間	2 nd semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	ダンテのインフェルノという作品を深掘りする一斉授業。		
成績	23/30		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 B)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	POSTCOLONIAL SOCIETY AND CULTURE		
履修期間	2 nd semester	単位数	6ECT
授業内容／形態	シェイクスピアのオセローをもとにその時代背景、歴史などを学ぶ一斉授業。グループワークあり。		
成績	21/30		
YCU 振替予定	科目	表象文化論	
	単位数	2	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学を終えて思うことは、本当に行ってよかったということです。ありきたりな言葉ですが、かけがえのない友達、そして一生の思い出ができたと思います。私は海外の高校出身でコロナにより高校 2 年間オンライン授業のみで全く高校に行けませんでした。もちろん、修学旅行もないです。大学に入ってから最初の一年もあまり行けていません。そんな中からの留学だったので本当に行けると思えず、留学の行く直前までなんらかの理由によって行けないこともあるかもしれない、期待するなと保険をかけていました。ビザや住居探しには苦戦したもののトントン拍子でイタリアに渡ることができました。もちろん一人での渡航なので、最初は知っている人すらいないという環境の中やっつけていけるのか不安でしたが、welcome week に積極的に参加したことやバディからの繋がり、授業からの繋がりなどでたくさんの人と繋がることができました。慣れない環境の中、体調を崩すことも多々あり、ストレスもいつの間にか溜まっていたり、滞在許可の申請で手こずったり、人種差別的なことを受けたりと苦労した部分も多々あります。ただ、それよりもベネチアという幻想的な環境、素敵な友達に囲まれ、とても恵まれた環境の中で留学生生活を過ごすことができました。何から何まで本当に恵まれたと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今回の留学を得た興味や知識/情報をもとに、将来ヨーロッパでもっと勉強し、海外で仕事をしたいと思うようになりました。勉強というのは、主にアートや映像系のことです。もともとアートや映像系に興味はあったのですが、学ぶ機会がなく趣味程度で終わっていました。しかし、ベネチアではアートや映画などの映像作品に触れ合う機会が日常的にあったことで、より興味を持つようになり、学びたいと思うようになりました。実際に、ベネチア留学中では、アートを学べる先生を探し、ベネチアをテーマにアート作品を制作しているスペイン人の先生にアートを教わりました。また、イタリア始めヨーロッパでは芸術系の学校が数多く存在し、内容も非常に充実しています。また、大学内での勉強する環境も非常に整っており、私が通っていたカフォスカリ大学でもみんな毎日勉強に勤しんでいました。このような環境なら好きなことに全力で取り組み、充実した時間を過ごし、日本では学べないたくさんのものを吸収できるのではないかと思います。その学びや経験から仕事につなげていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

もし留学に迷っている方がいたら、私はぜひ留学を勧めたいです！言語やビザ、異国での一人暮らし、知っている人が誰もいない環境など心配事はたくさんあると思います。実際に、準備段階から苦労することもあります。しかし、その心配や苦労が一気に報われ、何事もなかったかのように思える程、私はワクワクや楽しさが上回りました。

私が一番苦労した点は、イタリア人の仕事スピードと質問を聞くときに聞く人によって言っていることが全然違うという点です。例えば、滞在許可の申請をしても正式な許可証が出るまでほぼ一年かかったり、ビザや寮に関する事などイタリアに住むということにおいて重要なことを大学や警察、領事館に直接聞いても回答がそれぞれ違ったりします。私がこれからイタリアに留学する生徒に向けて一番したいアドバイスは、疑問、お願いしたいものなどがあったら何人にも聞いて、何回でも聞いて、対応してもらえないのであればしつこく電話・連絡すること(人によって対応してくれる人としてくれない人、また返事・回答も同じ機関なのに人によってそれぞれ違うので)、何かを申請するのであれば全てを早めに準備するという事です。また、メール内容を保管、電話内容も細かくメモした方が、万が一何か言われても証拠として出していました。とにかく自分を強く持って、相手に何か言われても自分の言いたいこと、聞きたいことをしつこく主張するとなんとかなります。粘るが勝ちです。